

学校教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」



学校だより

えのき

7月号



皆野町立皆野小学校 令和7年7月1日 発行

えがおでなかのよい子 のびのびたくましい子

「気(き)づき 考える子」

校長 吉田 浩

6月は、梅雨入りした途端に、梅雨前線が消えてしまうような猛暑がやってきて、あっという間に夏本番といった気候になりました。近年は、「暑すぎて体育ができない。」「暑すぎて校庭で遊べない。」そして「暑すぎてプールにも入れない。」といった心配をすることも増えました。梅雨も戻り少し暑さも和らぎましたが、今年も暑い夏となりそうです。体調に気をつけながら、夏休みまでの教育活動を充実させていきたいと思います。

さて、今月の表題は、皆野小の学校教育目標の目指す知識、学習面での子供の姿になります。よく、テストでよい点を取ると「頭がいいね」という言葉が出ることがあります。この「頭がいいね」には、記憶力がいい、要領がいい、観察力がある、アイデアが抱負等、いろいろな意味が含まれます。

では、本当の意味で「頭がいい」とはどんな状態なのでしょう。それは、「**自分の頭で物事を深く考えられる**」ことではないでしょうか。目の前の課題に正対し、自分の知識や経験をフル活動させ、時には新たな情報を収集しながら、解決に向けて自分なりに取り組み、結果を得るということです。

大人が、なんでも教えこんでしまうと、自分で考えずに、指示待ちで他人に頼る気持ちが強くなってしまいます。これからの世の中においては、マニュアル通りにする作業は、ロボットや AI が担当していくことが多くなると思います。目の前の事象に対する**気づきを大切に**し、**自分なりの考えを持つ**とともに、周囲の人たちとの**学び合いで、新たな情報を得ながら解決**していく力が必要とされます。

そんな、未来を拓いていく子供たちに、自分の力でできる喜びを味わわせるために大切な一言は「**もっとよく自分で考えて。それでもわからなければ一緒に考えよう。**」という言葉です。子どもたちとのつながりを持ちながら、背中をそっと押す支援も大切です。

皆野小でも授業の中で、**自分で考える時間「自力解決」を大切に**しています。ここでは、今までの学習を手がかりにして、新しい課題について自分の力で取り組みます。そして「**学び合いの時間**」では、**友達と意見交流をしながら、よりよい考えを練り上げて**いきます。いろいろなことに気づく力を持ち、深く考えられる子の育成に今後も全力で取り組みます。

